

# 市長就任の ごあいさつ



このたびの串間市長選挙におきまして、市民の皆さまをはじめ各方面からの温かいご支援とご厚情を賜り第19代串間市長として引き続き市政の重責を担わせていただくこととなりました。皆さまからお寄せいただいた信頼と期待にお応えすべく、新たな決意のもと「豊かな自然と共存し、みんなで創り育てる多様性と持続性のまち くしま」の実現に向け誠心誠意全力を傾注する所存であります。

これまでの4年間を振り返りますと、まずは長年の懸案事項の解決を優先して進めてまいりました。私が掲げた「団結・市民総力戦」で串間の活性化を図るため、強い意気込みで課題解決のために国や県などに要望を行ってまいりました。都井岬の再開発、串間温泉いこいの里の再生、旧吉松家周辺整備、高松キャンプ公園整備、道の駅くしまの整備など、一定の成果が上げられたことは、市民の皆さまのご支援とご協力があつてのことと心から感謝申し上げます。そして、2期目の挑戦であります。まずはコロナ対策を急がなければなりません。第6波が起り得ることを念頭に、各種関係団体にご協力いただきながら、感染予防対策に取り組んでまいります。

1つ目は防災拠点施設整備であります。地球温暖化による大規模災害や、南海トラフ巨大地震など、災害に対する備えは喫緊の課題であります。市民の安心安全を守る拠点整備を進めてまいります。

2つ目は脱炭素社会の実現（地球温暖化対策の推進）を目指します。串間市は「ゼロカーボンシティ」を宣言しておりますが、このことは世界全体で取り組まなければならない、SDGsの理念を念頭に、住みよい社会、自然エネルギー供給のまち串間を目指します。

3つ目は、100歳健康社会。自然環境に恵まれた串間の資源を活用して、心身ともに健やかに暮らせる、滞在できるまちづくりを推進します。串間は自然エネルギー供給のまちとして風力、水力、木質バイオマス、メガソーラーなど多くの自然エネルギーを市外県外に供給しています。また、串間市の魅力である都井岬などの手つかずの自然に加え、高松キャンプ公園、道の駅くしま、都井岬観光交流館パカラパカなどの新たな見どころも増えました。これらをつなぎ合わせ串間の魅力を増幅させるとともに、私が先頭に立ち市外県外に宣伝して交流人口、関係人口の増加と、串間の活性化に努力してまいりますので、引き続き市民の皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

## profile

島田 俊光 (しまだ・としみつ)  
昭和21年9月3日生まれ  
(75歳)

### ■経歴

昭和38年 県高等営農研修所 卒業  
昭和48年 串間市森林組合 入職  
平成12年 串間市森林組合 組合長  
平成14年 南那珂森林組合 組合長

平成18年 宮崎県森林組合連合会 代表理事会長  
平成27年 宮崎県議会議員就任  
平成29年 串間市長就任

市長コラムは  
来月号から  
再開します

またまだ知らない串間がたくさん！  
しま再発見



## 串間市内の 遺跡について

皆さんこんにちは。生涯学習課文化係、文化財担当の志原です。

さて、串間市内にはいったいいくつの遺跡があるか、皆さんはご存じでしょうか？遺跡は、地中に埋もれているので普段の生活では目に入らないし、よく知らないという方は多いのではないのでしょうか。ちなみに、日本全国には約46万カ所もの遺跡の存在が推定されています。日本の国土面積は約38万km<sup>2</sup>で、おおよそ1kmあたり1〜2遺跡が存在するということになります。では、串間市に存在する遺跡の数はというと、約200カ所（1999年調査）です。皆さんは多いと感じましたか、少ないと感じましたか？串間市の面積が約295km<sup>2</sup>であり、全国の遺跡の数と比べてみると、「串間市の地中にはまだまだ遺跡が眠っているのでは」と私は考えています。遺跡のように、地中

に埋もれている文化財を「埋蔵文化財」といい、文字で残されていない歴史を私たちに伝えてくれるものです。串間市にはたくさんの魅力的な埋蔵文化財が存在しています。今回はそのうちのひとつ、福島町古墳群について、一緒に学んでみましょう。

### ●福島町古墳群

串間市の古墳といえば、福島小学校周辺に点在する福島町古墳が身近ではないでしょうか。土を盛って作る古墳は、一目見てその存在が分かりますよね。福島古墳群は、かつて19基が昭和8（1933）年に県指定史跡となりましたが、後の昭和56（1981）年に再調査が行われ、現在はそのうちの5基、3号古墳（長清見塚・円墳）、4号古墳（剣城古墳・前方後円墳）、5号古墳（毘沙門塚・円墳）、9号古墳（霧島塚・円墳）、10号古墳（万多城塚・前方後円墳）のみが確認できます。

これらの古墳がいつ頃に造られたかと言うと、いわゆる古墳時代と呼ばれる、今からおおよそ1400年前の、3世紀末〜7世紀末ごろで、福島周辺を支配していた豪族の墓であると考えられています。という

のも、実は、串間市内の遺跡、特に古墳については、はっきりと分かっていないことが多いからです。指定外ではありますが、台湾高砂族の祭具であるガラスの練玉が出土した銭亀塚や、文政年間に玉壁が出土したと伝わる王之王山古墳など、学術的価値の高い古墳が多いのは確かです。今後、調査が進んでもっと分かることが増えるのではないかと思います。

よく、「串間には何もない」という言葉を聞きます。しかし、埋蔵文化財1つとっても多種多様です。埋蔵文化財に限らず、これまで串間市教育委員会では、市内の発掘調査や文化財保護を行ってきました。串間市の文化財の調査成果を、今後不定期ではありますが、お伝えしていこうと思います。これからも、当教育委員会では文化財保護活動を進めてまいりますので、皆さんも身の回りにある大切な文化財を大切に守っていきましょう。

### ●参考文献

・串間市1996「串間市史」  
・串間市教育委員会1992「串間市の文化財」

●問い合わせ先 生涯学習課文化係 ☎55-1163



10号古墳(万多城塚)



福島町古墳群位置図



9号古墳(霧島塚)の墳上に祭られるほこら



福島小学校前に位置する9号古墳(霧島塚)